

蓬松（ほうしょう）鍼灸治療院

中医練習問題

初・中級レベル

松田篤人

2023/12/13

注意 本テキストは転載や複製を禁止し、個人使用のみに制限します。

内容

第一章	中医学基礎	- 1 -
第一節	練習問題集＜ 1 ＞	- 1 -
一.	A 型問題.....	- 1 -
二.	B 型問題.....	- 8 -
三.	C 型問題.....	- 10 -
四.	D 型問題	- 12 -
五.	回答と解説	- 16 -

第一章 中医学基礎

第一節 練習問題集＜1＞

一. A 型問題

選択肢から最も該当するものを一つ選べ。

1. 肺が「嬌臓（きょうぞう）」と呼ばれる根拠は？

- A. 肺が五臓の最高位にある
- B. 肺が皮毛を主る
- C. 肺が寒さ・暑さに耐えられず、邪気に侵されやすい
- D. 肺が水の上源
- E. 肺が清気を取り入れ、濁気を吐き出す

2. 脳の生理機能に最も密接に関連する臓腑は？

- A. 心肺肝
- B. 心肝脾
- C. 肺脾腎
- D. 心脾腎
- E. 心肝腎

3. 以下の各項目は、どれの陽虚証が最も重いか？

- A. 腎陽虚
- B. 心陽虚
- C. 胃陽虚
- D. 脾陽虚
- E. 以上のいずれも違う

4. 肝の生理特徴は？

- A. 筋を主る
- B. 動・昇を主る
- C. その華は爪にある
- D. 血を蔵する
- E. 女子は肝を先天とする

5. 「肺の戸」と言われるものは？

- A. 鼻
- B. 喉
- C. 咽喉
- D. 鼻と喉
- E. 皮毛

6. 虚証を治療する時、よく補血薬に補気薬を配合するが、その理論根拠は？

- A. 気が血を生じる
- B. 気が血を制御する
- C. 気が血を運行する
- D. 血が気の母
- E. 以上のいずれも違う

7. 元気の運行通路は？

- A. 経脈
- B. 臓腑
- C. 腠理
- D. 三焦
- E. 以上いずれも違う

8. 五臓共通の生理特徴は？

- A. 精気の化生
- B. 精気の貯蔵
- C. 精気の化生と貯蔵
- D. 気血の化生
- E. 津液の貯蔵

9. 中医学における整体観の概念は？

- A. 人体は一つの有機整体
- B. 自然界は一つの有機整体
- C. 形と精神の統一観
- D. 五臓と六腑は一つの統一的整体
- E. 人体は一つの統一的整体

10. 心腎不交の治療によく使われる方法は？

- A. 瀉南補北法
- B. 抑木扶土法
- C. 滋水涵木法
- D. 培土制水法
- E. 佐金平木法

11. 会厭（ええん）の他の呼び方は？

- A. 飛門
- B. 戸門

- C. 吸門
- D. 氣門
- E. 魄門

12. 寒邪の性質と致病の特徴は？

- A. 開泄
- B. 重濁
- C. 凝滯
- D. 粘滯
- E. 乾澀

13. 血液運行に最も密接に関連するのは？

- A. 肺が百脈を朝する
- B. 脾が統血を主る
- C. 肝が蔵血を主る
- D. 心が百脈を主る
- E. 以上のいずれも違う

14. 補陰薬を主薬として、それに適宜に補陽薬を配合する治療法とは？

- A. 陰の中に陽を求める
- B. 陽の中に陰を求める
- C. 陰病を陽で治す
- D. 陽病を陰で治す
- E. 平補陰陽

15. 五行学説で五臓病変の相互影響を説明するとき、肝火犯胃証はどれか？

- A. 子の病が母を犯す
- B. 相克
- C. 相乗
- D. 相侮
- E. 母の病が子に及ぶ

16. 陽病で陰を治療する病理的基礎理論は？

- A. 陰盛
- B. 陽盛
- C. 陽虚
- D. 陰虚
- E. 陰陽両虚

17. 氣滯証の症状は？

- A. 眩暈
- B. 脹痛
- C. 噯気悪心
- D. 腹部脹痛
- E. 手足麻木

18. 虚証でないものはどれか？

- A. 浮脈
- B. 結脈
- C. 濡脈
- D. 細脈
- E. 弱脈

19. 体内の物質転化とエネルギー転化は気のどの作用に依るか？

- A. 推动作用
- B. 温煦作用
- C. 防御作用
- D. 氣化作用
- E. 以上のいずれも違う

20. 心が血脈を主るとは、主に心臓のどの機能を指すか？

- A. 血液の化生
- B. 血液の運行
- C. 血液の固摂
- D. 血液の栄養
- E. 以上のいずれも違う

21. 脾氣虚・脾陽虚・脾氣下陷の共通症状は？

- A. 便溏・四肢無力
- B. 四肢無力・身重
- C. 脘腹墜脹
- D. 肢体浮腫
- E. 舌が淡白胖大

22. 胃陰虚の臨床特徴は？

- A. 噯気吞酸
- B. 食欲無し
- C. 食べたらずく

- D. 放屁・便溏
- E. 脈が滑数

23. 胃脘隠痛で温かさ・押されることを好み、清水を嘔吐し、大便秘結の症候は？

- A. 寒邪犯胃証
- B. 脾胃虚寒証
- C. 肝胃不和証
- D. 食滯胃脘証
- E. 脾陽不足証

24. 眩暈不眠・咽喉乾燥・五心煩熱・潮熱盗汗・舌赤・脈細数の症候は？

- A. 営血虧損証
- B. 津液不足証
- C. 燥邪犯肺証
- D. 陰虛火旺証
- E. 血虚証

25. 以下の症状によく見かける肝病に属しないものは？

- A. 胸脇・少腹の脹痛
- B. 煩躁・易怒
- C. 眩暈
- D. 体が震える・痙攣
- E. 寒さに弱く四肢が冷える

26. 体は太るが食欲不振・無力・精神不振の者の形氣盛衰の状態は？

- A. 形氣が余る
- B. 形盛氣虚
- C. 形瘦陰虚
- D. 形氣ともに虚
- E. 精氣衰弱

27. 風邪が人を犯しているが、その病位が不定な原因は？

- A. 風が肝と相応するので、肝病がよく動く
- B. 風は百病の長
- C. 風の性質はよく動き、揺れる
- D. 風の性質はよく動く
- E. 風の性質はよく変化する

28. 表虚証を弁証する主な根拠は？

- A. 悪寒
- B. 発熱
- C. 悪風
- D. 発汗
- E. 浮脈

29. 黄苔の主な病証は？

- A. 寒証
- B. 熱証
- C. 痰飲
- D. 湿証
- E. 以上のいずれも違う

30. 以下の項目で虚実・真偽に無関係のものは？

- A. 声の高低
- B. 舌の老嫩
- C. 発熱の有無
- D. 体質の強弱
- E. 脈の有力無力

31. 紫舌の主な病証は？

- A. 気滯
- B. 瘀血
- C. 痰凝
- D. 津液の虚損
- E. 陰虚

32. 面色の艶無し・倦怠無力・食欲不振・食後の膨満感・月経が早くて多い・経血の色が淡い・舌質が淡くて舌苔が薄くて白い・脈が細弱の証候は？

- A. 脾気虚証
- B. 脾陰虚証
- C. 脾気下陷証
- D. 脾不統血証
- E. 以上のいずれも違う

33. 自汗の病機は？

- A. 陽気の暴脱
- B. 気虚の衛陽不固

- C. 陰虚で内熱が津液を外へ迫る
- D. 湿熱壅盛で津液を外へ迫る
- E. 邪氣と正氣の争い

34. 以下の項目では何を除いて淡白舌が主な病証か？

- A. 氣血兩虚
- B. 血虚
- C. 陽虚
- D. 陰虚
- E. 虚寒

35. 表証の最も主要な症状は？

- A. 惡寒發熱
- B. 咽喉痛
- C. 頭・体の疼痛
- D. 数脈
- E. 苔薄黄

36. 以下の項目では何を除いて失血による病証か？

- A. 亡陰
- B. 亡陽
- C. 瘀血
- D. 肝風内動
- E. 真陰不足

37. 「生風動血」を引き起こしやすい邪氣は？

- A. 燥邪
- B. 寒邪
- C. 暑邪
- D. 湿邪
- E. 火邪

38. 「有根」脈の脈象の特徴は？

- A. 不浮不沈
- B. 規律不定
- C. 不快不慢
- D. 緩和有力
- E. 尺脈の沈とは、有力のことを指す

39. 三焦弁証の中焦病証が何經の病變を含むか？

- A. 足陽明胃經と足太陰脾經
- B. 手陽明大腸經と足陽明胃經
- C. 手陽明大腸經と足太陰脾經
- D. 足少陽胆經と足陽明胃經
- E. 足陽明胃經と足厥陰肝經

40. 惡寒発熱・頭痛・身体痛・關節痛を最も重く引き起こす邪氣は？

- A. 風邪
- B. 寒邪
- C. 暑邪
- D. 湿邪
- E. 燥邪

二. B 型問題

選択肢から問題の答えを選択しなさい。選択肢は使用しなくても、複数回使用してもよい。

- A. 開泄
- B. 吸収
- C. 上炎
- D. 粘滯
- E. 乾澁

41. 寒邪の特徴は？

42. 湿邪の特徴は？

- A. 風邪
- B. 寒邪
- C. 湿邪
- D. 燥邪
- E. 瘀血

43. 四肢を重くさせる病因は？

44. 胸悶・膩苔の病因は？

- A. 気の根
- B. 気の枢
- C. 太倉
- D. 霧の如く
- E. 氣化の場所

45. 胃は？

46. 三焦は？

- A. 推动作用
- B. 温煦作用
- C. 防御作用
- D. 固摄作用
- E. 气化作用

47. 人体の成長発育に依頼する気は？

48. 肌表を緻密にさせ、抵抗力を強くする気は？

- A. 心
- B. 肺
- C. 脾
- D. 肝
- E. 腎

49. 「痰の源」と称される臓は？

50. 陰でありながら陽を現す臓は？

- A. 赤く腫れて熱い、根元が堅く締まる
- B. 触ったら動かず堅いが熱くない
- C. 触ったら腫れて硬いが熱くない、根元が平らで浮腫がある
- D. 押さえたら凹む、手が離れても元に戻らない
- E. 触ったら周りが堅い、中心部が柔らかい、流動感がある

51. 瘡瘍陽証の症状は？

52. 瘡瘍が化膿した場合の症状は？

- A. 口味が淡くて味が無い
- B. 口味が甘い、あるいは口内が粘る
- C. 口味が酸っぱい
- D. 口に酸っぱい水が出る
- E. 口が苦い

53. 脾胃気虚に見られる症状は？

54. 脾胃蘊熱に見られる症状は？

- A. 口が非常に渇き、冷たいものを好む
- B. 口渇でよく飲む、小便が多い
- C. 口渇するが、あまり飲まない、脘悶、膩苔
- D. 口が乾くが水を飲みたがらない

E. 口渇で少量の熱いものを飲むが、すぐ吐く

55. 実熱証の臨床症状は？

56. 陰虚証の臨床症状は？

A. 面色淡白、動悸不眠、精神不振、懶言、無力、自汗、舌淡嫩、脈細弱

B. 面色淡白無艶、気短無力、月経がだらだら終わらない、舌淡、脈細弱

C. 面色蒼白、大量出血、四肢厥冷、大汗、脈微細で無くなりそうになる

D. 面色光白、動悸気短、動作加重、脈細弱あるいは結代

E. 口唇青紫、呼吸が僅か、胸悶、大汗、四肢厥冷、脈微で無くなりそう

57. 気が血と共に無くなったときに見られる症状は？

58. 気が血を固摂できずに見られる症状は？

A. 裏実証

B. 実寒証

C. 虚寒証

D. 表実証

E. 以上のいずれも違う

59. 発熱、悪寒、頭痛、首が強直、脈が浮緩の証候は？

60. 畏寒、四肢の冷え、腹痛で暖かさを好む、舌が淡嫩の証候は？

三. C 型問題

選択肢から二つの設問共に該当するものを選べ。

A. 肺気宣発

B. 肺気肅降

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

61. 水道通調に依頼する臓腑機能は？

62. 大腸伝導に依頼する臓腑機能は？

A. 悪心嘔吐

B. 腹脹便澇

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

63. 胃の和降の失調に見られる症状は？

64. 脾胃昇降の乱れに見られる症状は？

A. 水穀の精気

B. 自然界の清気

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

65. 營気の生成の源は？

66. 宗気の生成の源は？

A. 病理的産物

B. 致病因子

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

67. 癰気は？

68. 痰飲は？

A. 動悸怔忡、不眠、よく夢を見る

B. 心胸煩熱、不眠、口・舌に潰瘍、尿が黄色い、便が乾燥する

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

69. 心火上炎証に見られる症状は？

70. 小腸実熱証に見られる症状は？

A. 両顴潮紅

B. 下痢清穀

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

71. 戴陽証の症状は？

72. 虚熱証の症状は？

A. 飲食不潔

B. 飢えたり飽きたり

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

73. 脘腹脹痛、噯腐吞酸の病因は？

74. 裏急後重、赤白痢の病因は？

A. 暑邪

B. 火邪

C. 両者ともに該当する

D. 両者ともに該当せず

75. よく気・津液を損傷する邪気は？

76. よく生風動血の邪気は？

- A. 便血が鮮やかな赤色
- B. 先に血、後に便
- C. 両者ともに該当する
- D. 両者ともに該当せず

77. 「遠血」に属する便血の症状は？

78. 「近血」に属する便血の症状は？

- A. 舌質
- B. 舌苔
- C. 両者ともに該当する
- D. 両者ともに該当せず

79. 正気の虚実を弁証する時に重点的に観察すべき舌象は？

80. 邪気の深さと性質を弁証する時に重点的に観察すべき舌象は？

四. D 型問題

以下に示す回答の組み合わせにしたがって、A～E を選べ。

①+②+③が正しい=A

①+③が正しい=B

②+④が正しい=C

④が正しい=D

①+②+③+④が正しい=E

81. 以下の各項目で「陰陽互根」で解釈できるものは？

- ① 寒極生熱、熱極生寒
- ② 孤陰不生、独陽不長
- ③ 重陰必陽、重陽必陰
- ④ 陰が内にあり陽が守り、陽が外にあり陰に使われる

82. 中焦の生理機能は？

- ① 気血生化の源
- ② 津液を蒸発する
- ③ 糟粕を排泄する
- ④ 昇降の枢

83. 以下の各項目で気の上逆が起こりやすい臓は？

- ① 胃

- ② 肝
- ③ 肺
- ④ 腎

84. 以下の各項目で肝の蔵血機能を示すものは？

- ① 血液の貯蔵
- ② 血行の推動
- ③ 血量の調節
- ④ 肝は血の海

85. 以下の各項目で肺の宣発作用に属さないものは？

- ① 体内の濁気を排出する
- ② 津液と水穀の精微を配布する
- ③ 衛気を宣発し、腠理の会合を調節する
- ④ 呼吸道を通暢を保持する

86. 湿邪がよく引き起こす病証の症状は？

- ① 小便の濁り
- ② 腹瀉が絶えない
- ③ 舌苔が厚膩
- ④ 全身が重い

87. 陰陽盛衰の表現は？

- ① 陽盛則熱
- ② 陰盛則寒
- ③ 陰虚則熱
- ④ 陽虚則寒

88. 肝の疏泄を主る表現は？

- ① 脾胃消化の促進
- ② 情志の通暢
- ③ 気血運行の促進
- ④ 気機の通暢

89. 血液の正常運行に関連する因子は？

- ① 心気の充実
- ② 血液の充実
- ③ 脈の通利
- ④ 気機の通暢

90. 腎気不固の臨床表現は？

- ① 小便の余瀝
- ② 男子の遺精
- ③ 大便の滑瀉失禁
- ④ 女子の小産

91. 少陽病証の臨床表現は？

- ① 口苦、咽喉乾燥
- ② 寒熱往来
- ③ 食欲不振
- ④ 弦脈

92. 陽斑逆証の表現は？

- ① 斑点が疎ら（まばら）
- ② 斑点が緻密
- ③ 赤くて潤っている
- ④ 紫赤で暗い

93. 営分証の病変特徴は？

- ① 耗血動血
- ② 営陰が消耗
- ③ 傷陰動血
- ④ 心神不安

94. 心火亢盛証の症状は？

- ① 動悸怔忡
- ② 狂躁不眠
- ③ 潮熱盜汗
- ④ 譫言、吐血、皮下出血

95. 脾胃虚損による月経不調の症状は？

- ① 月経が前後不定期
- ② 月経が遅くなる
- ③ 色が暗くて瘀血の塊があり、量が少ない
- ④ 色が淡くて薄い、量が不定

96. 寒証の主な特徴は？

- ① 畏寒、四肢の冷え

- ② 嘔吐、腹脹
- ③ 苔が白くて潤っている
- ④ 無力短気

97. 腹痛虚実を弁証する要点は？

- ① 発病の緩急
- ② 喜按あるいは拒按
- ③ 食後に痛みが緩解されるか否か
- ④ 疼痛の部位

98. 裏証の原因は？

- ① 表邪が裏に入る
- ② 外邪が直接臓腑に中る
- ③ 七情内傷
- ④ 飲食、過労

99. 実証を引き起こす病因病機は？

- ① 外邪が人体に侵入する
- ② 痰飲内停
- ③ 瘀血凝聚
- ④ 気滯鬱結

100. 痰飲証に見られる脈象は？

- ① 弦脈
- ② 濡脈
- ③ 滑脈
- ④ 沈脈